

FDのための情報技術研究講習会開催結果の概要

1. 開催日時：平成30年2月28日（水）～3月1日（木）
2. 開催場所：追手門学院大学
3. 参加者：78名（46大学、1短期大学） 前年度：23名（19大学）
4. 講習会の目標

アクティブ・ラーニングを実現するために、分野共通で必要と思われる ICT の活用方法および教育改善手法の習得を目的として、事前・事後学修を徹底するためのLMS、教員と学生・学生同士による対話環境を支援するツール、動画などの視覚教材、ICTを活用した授業マネジメントなどの知識・理解と情報技術の獲得を目指した。

5. 実施結果

- (1) 昨年度は参加者が減少したことから、今年度は、日程の短縮、参加費の減額、プログラム内容の変更を行った結果、参加者を3倍程度拡大できた。
- (2) プログラムは、参加教員全員を対象とする「全体会」と希望に応じたアラカルト方式による9つの「ワークショップ」で実施した。
- (3) 全体会では、「LMSを活用した大人数授業におけるアクティブ・ラーニング」、「ICT活用と著作権の基礎知識」の講演と「ICTを用いた授業の支援」の体験授業を行った。参加された教員から「反転授業やアクティブ・ラーニングの意義・方法が理解できた」、「今回の体験授業のような講義を受けられる学生がうらやましい」、「著作権の話がタイムリーで分かりやすく参考になった」などの他、多数の教員から「有益であった」感想が寄せられた。
- (4) ワークショップでは、① 授業に Google Classroom を活用するワークショップを2コマ、② 授業にLMSを活用するワークショップを2コマ、③ 動画教材を作成するワークショップを2コマ、④ ICTを活用したアクティブ・ラーニング (AL) マネジメントのワークショップを1コマ、⑤ ICTを活用したループリック作成のワークショップを1コマ、⑥ ビジュアルプレゼンテーション作成のワークショップを1コマ設定し、アラカルト方式で実施した。
- (5) ワークショップの達成度を以下に掲載する。

	達成できた	見通しがたった	達成できなかった
① Google Classroom	3割	6割	1割
② LMS	2割	8割	
③ 動画教材	7割	3割	
④ ALマネジメント	2割	8割	
⑤ ループリック	3割	7割	
⑥ ビジュアルプレゼンテーション	5割	5割	

- (6) 以下に特徴的な感想を掲載する。
 - ① **Google Classroom**：「授業のような進捗で学生の立場を体験できて良かった」、「講習内容を把握していない受講者がいたが、利用方法を考える講習としては満足だった」など。
 - ② **LMS**：「LMSで何ができるのか分かった」、「新たな操作、仕組み、活用方法などを知ることができた」など。
 - ③ **動画教材**：「気軽に iPad で動画教材ができるようになった」、「PowerPoint や Google で音声付教材の作成方法が分かり操作を習得できた」、「欠席者の補習や進行の遅い学生用に動画を作ろうと思う」など。
 - ④ **ALマネジメント**：「様々な教員の課題を通じてどのように解決すべきか参考になった」、「内容が深く、講習を通じてアクティブ・ラーニングを体験できて良かった」など。
 - ⑤ **ループリック**：「具体的に作成し、活用する技術を得られて満足している」、「ループリックに関するモヤモヤが解消できた」、「ループリックを使う決心をした」など。
 - ⑥ **ビジュアルプレゼンテーション**：「Prezi をまた使い始めようという気になった」、「デザイン性の高いプレゼンやアニメーションを作成したいときに活用したい」、「新しいプレゼンが習得できた」など。